



# 一滴のしずくがやがて 大きな波紋となる

瀕死の白鳥である実相院門跡の建造物をどうか助けてください。

洛中からつかず離れず、美しい自然に囲まれた岩倉の地は、平安の昔から「ものけ」に憑かれたお姫さまやお后方が心を癒しに訪れる里でした。関伽井という井戸があり、この「しずく」に癒しの力があつたとも伝わっています。その岩倉に今も佇む実相院門跡(元天台宗の寺門派の単立寺院)は、かつては「岩倉御殿」と呼ばれ、代々、天皇家ゆかりの人々が住職を勤める、格式の高い寺院でした。

建物(客殿や車寄せ)も、禁裏内の大宮御所(女御所)にあつたものを下賜され、約二八〇年前に移築した、貴重な文化財であることが判っています。檀家を持たない門跡寺院であるために、現在は一般公開し、皆さまからの布施(拝観料)によって運営、維持を務めています。

ところが大がかりな修復工事を行えないまま、現在に至っているため、老朽化が進んでいます。もともとは板葺として建てられた美しい客殿でした。それがある時期から瓦葺きとしたために、その重みにいよいよ建物が傾きはじめ、現在は二六本もの鉄骨や丸太で松葉杖をついているような状況です。

まるで瀕死の白鳥です。倒れてからでは遅い。「白鳥を救うのは、今しかない。そんな思いから、私たちは修復に向けて、「音のしずく 心のしらべ」と題するコンサートを立ち上げることにしました。記念すべき第一回目に、床みどりという風が手を取り合うこの季節を選び、チェリストであり作曲家である溝口肇さんを迎え、実相院という白鳥の下に、小さな席をご用意しました。

岩倉実相院「音のしずく 心の調べコンサート」

実行委員会実行委員会

委員長 麻生圭子



## 音のしずく 心の調べ コンサート 第一章

床みどり映える、由緒正しき寺院にて。チェロの音が誘う、繊細なる美のひととき。

庭園の新緑が、板の間の床に輝くように映る「床みどり」。京都の春の風物詩であり、岩倉実相院の代名詞でもある、エメラルドグリーンの床があざやかに色づく5月、世界で活躍するチェリスト「溝口肇」が1日限りのプレミアムコンサートをお贈りします。京都通のエッセイスト「麻生圭子」とのトークもお楽しみに。

### Program プログラム

世界の車窓から  
鳥の歌～プロローグ  
ローズ  
close to you  
スマイル  
エスパス

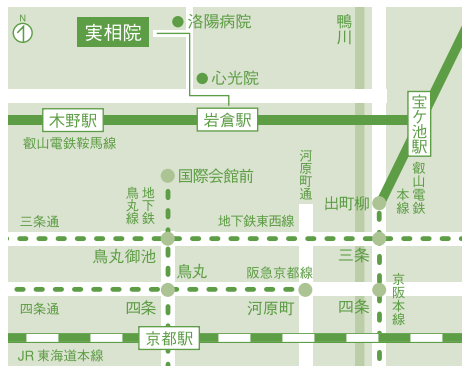
※曲目・曲順は変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

### 溝口肇

3歳からピアノを習い始める。東京芸大在学中に独自の作品を制作。86年にソロデビュー、日本たばこ「ピースライト」のCM出演とともに脚光を浴びる。以来ソロ作品と並行してアレンジ、CM音楽制作、サウンドプロデュース、映画、音楽制作、他のアーティストへ楽曲提供やサポートなど活動は多岐に渡る。TV朝日「世界の車窓から」のテーマ曲でも有名。

### 麻生 圭子

1957年生まれ。作詞家を経て現在はエッセイスト。'96年東京から京都へ。'99年、昭和初期の町家を修復、昔暮らしをはじめ。'05年、茶室のある築80年の日本家屋に転居。主な著書に、「東京育ちの京都案内」「京都で町家に出会った」(文春文庫)、「京都がくれた小さな生活。」「小さな食京都案内」(集英社be文庫)など。http://www.keiko-aso.com



### 交通アクセス

- JR+近鉄 / 「京都駅」から地下鉄烏丸線「国際会館前駅」下車。京都バス 24 28 で岩倉実相院行き終点。
- 京阪 / 「出町柳駅」下車。京都バス 21 23 で岩倉実相院行き終点。
- 阪急/a. 「河原町駅」下車。四条河原町東北側(ナムコタワー前)から京都バス 21 23 で岩倉実相院行き終点。  
b. 「烏丸駅」から地下鉄烏丸線「国際会館前駅」下車。京都バス 24 28 で岩倉実相院行き終点。

※京都バスご利用の場合、誤って岩倉村松行きにご乗車にならないようご注意ください。  
※公共交通機関をご利用ください。

### チケット販売

◎電子チケットぴあ (http://pia.jp/t) 、チケットぴあ店頭直接販売 (発売日時午前10時より)  
各コンビニエンスストア直接販売 (ファミリーマート、サークルKサンクス) ※発売初日お昼12時より  
通常電話予約 0570-02-9999 (10:00AM~11:30PM・Pコード226-889・音声自動認識)

主催:実相院「心の調べコンサート」実行委員会 協賛:PHP総合研究所 特別協力:溝口肇 協力:ぴあ、αステーション  
お問い合わせ:実相院「心の調べコンサート」事務局(アクティブKEI内) tel.075-255-6586